

教材名 「アップとルーズで伝える」 (第4学年)

## 指導事項

1

○この単元で指導する指導事項を「小学校学習指導要領解説国語編」で確かめましょう。

マトリックス型の年間指導計画を使って、重点となる指導事項と年間の系統性を確かめましょう。

◎〔知識及び技能〕(2)ア 〔思考力, 判断力, 表現力等〕C 読むこと ア

○〔知識及び技能〕(1)カ 〔思考力, 判断力, 表現力等〕C 読むこと オ

○同領域の前単元までに育成した資質・能力を書きましょう。

1 学期の教材文「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」を通して、筆者の考え、事実、説明を読み分けるために、段落相互の関係を捉える学習を行った。大事な言葉や文に気をつけて、段落ごとに何が書かれているのかを意識して読めるようになった。しかし、叙述を基に段落相互の関係を捉えることが難しく、筆者の説明の仕方を考えることに課題が見られた。

4

○単元名を書きましょう。

段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう

## 教材

2

○この単元で扱う教材のよさや、教材としての価値を書きましょう。

本教材は、映像や写真で用いられている撮影方法である「アップ」と「ルーズ」について説明している文章である。筆者は考えを伝えるために、二つの事例を対比して示したり、別の事例を提示したりしている。そのため、叙述を基に段落相互の関係を考えると、考えとそれを支える理由や事例の関係を捉えやすい。

これまでの学習と関連させて、写真と文章を対応させて読みながら、段落の関係をつかみ、説明の仕方について考えさせたい。

○他の図書を関連させて学習する場合は、扱う図書資料の内容について確かめましょう。

- ・中を想像してみよ
- ・アリからみると
- ・視覚ミステリー絵本
- ・このよで いちばん はやいのは

## 言語活動

3

○この単元での言語活動を設定しましょう。

本単元の次の単元では、説明の仕方を工夫してわかりやすく伝える文章を書く学習を行う。言語活動として、本単元で見つけた説明の仕方を生かしてクラブ活動について報告するリーフレットを作成することを位置付けている。

そこで、本単元の第一次において児童が次の単元の学習まで見通しをもてるようにする。また、言語活動として「アップとルーズで伝える」の筆者の説明の仕方の工夫について「4年〇組の説得の仕方の工夫」としてまとめることを位置付け、リーフレットづくりに生かせるようにする。